

小さい子たちとの遊び方(5歳以上)

数字を学んだばかりで足し算は分からない小さい子たちでも「フルー10」で遊ぶことができます。

遊び方: 足して10になるものを見つけるのではなく、同じタイプや同じ色のフルーツを見つけるだけです。ペアを見つけたら「むらさきの4!」や「パイナップルの1!」などと言います。

フルー10の基本バージョンのルールを、より簡単にすることも出来ます。

それぞれのプレイヤーが山から2枚のカードを引きます。その2枚の中から、足して10になるものを探します。見つけたら、お互いに見せるだけです。

スリートゥ15(9歳以上)

ゲームの目的: このバージョンでは、ターゲットとする数字を毎回変えます。

用意: 用意はベーシックバージョンと同じです。

遊び方: 「ターゲット3」から始め、4、5、6、と順番に15になるまで進めていきます。15になったら、14、13、と3になるまで減らしていきます。

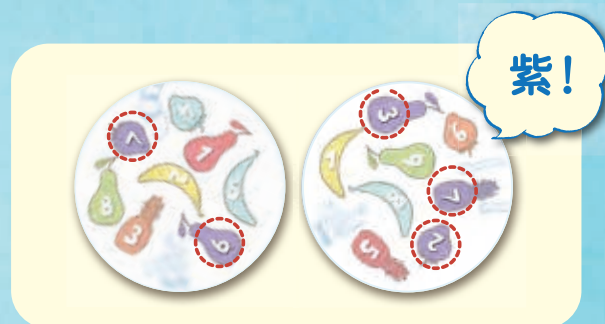
重要: 足し算だけでなく、引き算でもターゲットの数を目指すことが出来ます。例えば、ターゲットが3の時は、2と5でも良いです。(5-2=3)

マキシマム(9歳以上)

ゲームの目的: このバージョンでは、プレイヤーは足して10になるものを探すのではなく、一番大きい数になる色やフルーツを言います。

用意: カードの山から上の2枚を取って開きます。(2枚ではなく、1枚にすることでより簡単にする事が出来、3枚にすることでより難しくすることも出来ます。)

遊び方: 足すと1番大きな数になるフルーツや色を探します。一番大きな数になるフルーツや色を言えたプレイヤーがカードをもらえます。



「フルー5」のカード

小さな子用の、裏が黄色で、1から4までの数字が書かれたカードもあります。ルールは、「フルー10」と一緒です。



ブレインーゲーム

より教育的なゲームは
<https://brainy-game.com>まで

